
ISABEL BEHNCKE IZQUIERDO

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Primatologist, specialising in social behaviour



Topics

- Social Behavior
- Society

Isabel Behnckeはオックスフォード大学の霊長類学者です。彼女の作品の目的は、私たちの進化の過去がどのように私たちが人間の社会的行動を理解するのに役立つことができるか、そしてどのように私たちが人間の幸福を改善するためにこの知識を適用できるかを発見することです。彼女は、絶えず変化する世界に適応する能力の基盤を提供するメカニズム、そして特にこのプロセスにおける関係の役割に特に興味があります。彼女の最も最近のプロジェクトは、彼女がDRコンゴ熱帯ジャングルの深さで3年間過ごした野生のボノボのコミュニティの社会的行動を研究することを含みました。ボノボは、チンパンジーと一緒に、私たちの最も近い進化的な親戚であり、彼らの生活のこれまで未知の側面が根本的に新しい光に私たち自身のアイデンティティを投げかけています。彼女の作品は、ボノボの生涯にわたる遊び心が彼らの注目に値するまとまりがあり、寛容で社会的に洗練された社会に貢献することを示しています。

彼女はUniversity College London(UCL)で動物学の名誉学士号および保全生物学の修士号を取得し、その後チリ南部の温帯雨林に私立公園を設立する手助けをしました。その後、ケンブリッジ大学のヒューマンエボリューションで区別されてMPhilを取得するために英国に戻り、その後、Robin Dunbarとの博士号取得のためにオックスフォードに移りました。